

近畿六大学春季リーグ戦

◇9勝1敗優勝

近畿大会

◇京都産業大・京大・同志社大・関大を破り優勝

第25回全日本大会

◇8月11日

甲南大	0	0	0	2	0	0	0	0	2
福岡大	7	0	1	0	4	0	0	3	×
									15

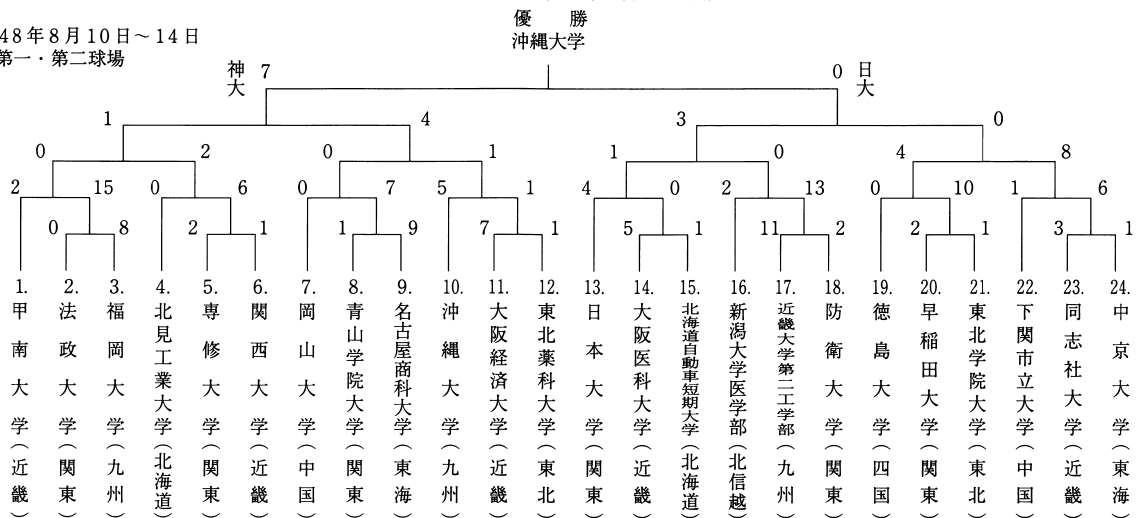
(勝利投手) 平野  
 (敗戦投手) 榎谷  
 (甲) 榎谷・山村一和田  
 (福) 平野・久保田・島津一弓削  
 三塁打 北崎・(福)和田(甲)  
 二塁打 北崎・川添2・渡辺・弓削・深江・久保田(福)

<寸評>

福岡大は、立ち上がりの悪い甲南大の先発榎谷を責め初回で勝負を決めた。この回一死後、久保田の内野安打を足がかりに、香山・渡辺と三連打して先ず二点、続く川添四球のあと、弓削・深江・平野と再び三連打を浴びせて三点を追加、そのあと北崎の三塁打が出てこの回一挙七点を取った。その後手ゆるめず三回一点、五回四点、八回三点と得点し完勝した。一方甲南大も四回和田の三塁打で二点を返したものの、福岡大の猛打の前に敗れた。

第25回全日本大学準硬式野球大会成績表

会期 昭和48年8月10日～14日  
 会場 神宮第一・第二球場



回顧録 全国大会3度の出場

昭和49年卒業 和田 順  
 創部50周年おめでとうございます。私が現役時代は全国大会に出場というのは当前とされていました。年2回のOB戦では負けてばかりで、過去最低のチーム、全国など無理だと酷評され続けていましたが、近畿大会優勝や全国大会3度の出場、また4年次に3年生の杉本君とともに全日本選抜チームに参加できたりと、個人的には結果が伴った充実した4年間でしたが、卒業後の低迷期の責任の一端は感じていました。近年全国大会出場が期待でき、また出場を果たしているチームに復活してきたことをうれしく思っています。現役時代「鬼」のような存在であった諸先輩が、我が子を見守るかのように優しい態度で現役諸君に接する姿を見るにつけ、時の流れを感じています。今後ますますの準硬式野球部の発展を期待しています。

その他

昭和48年9月に全日本大学選抜チーム第2韓国遠征メンバーに和田(捕手)・杉本(外野手)の2名が選ばれました。  
 同年11月全近畿大選抜チームとして沖縄に甲南大全員で遠征。

(2000年3月30日)